



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2138 URL http://crooz.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小淵 宏二  
 問合せ先責任者(役職名) 経営戦略管掌取締役 (氏名) 稲垣 佑介 (TEL) 03-5786-7080  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	23,389	13.6	1,857	20.5	1,895	22.2	3,068	241.6
28年3月期第3四半期	20,594	26.5	1,541	△18.3	1,551	△20.6	898	△27.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,098百万円(245.1%) 28年3月期第3四半期 897百万円(△28.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	255.66	240.39
28年3月期第3四半期	74.99	69.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	18,203	11,914	65.2
28年3月期	12,289	8,978	72.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 11,865百万円 28年3月期 8,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年3月期の期末配当金は未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由などは、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) Studio Z株式会社、除外 2社(社名) ウェーバー株式会社  
株式会社Candle Card King株式会社

- (注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	12,876,600株	28年3月期	12,841,600株
29年3月期3Q	852,565株	28年3月期	852,500株
29年3月期3Q	12,000,965株	28年3月期3Q	11,979,747株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策や金融政策の効果から雇用の改善などを含め、緩やかな景気回復基調で推移しました。また、世界経済の下振れリスクが顕在化し、不透明感が増してきていたものの、米国大統領選挙の結果を受けて、新しい政策への期待感から世界的な景気回復期待が高まりつつあります。

国内BtoCのEC市場（企業と消費者間の電子商取引）は、2014年度の12兆6,000億円から2021年度には倍増となる25兆6,000億円に達する見込みと言われております（注）。ファストファッション通販「SHOPLIST.com by CROOZ」

（以下、SHOPLIST）は、まさにその市場拡大とともに成長を遂げており、前期・前々期と2期連続で売上高約50%増、さらに事業規模拡大のための積極投資を継続しながらも利益を確保できる事業に成長しております。

そのような環境下、当社は『永続的な企業の存続に必要な事業ポートフォリオの変革、SHOPLISTをファストファッションEC分野を代表するブランドへ』という方針を掲げ、平成28年11月、「エレメンタルストーリー」（以下、エレスト）を除く全てのゲームタイトルとそれに関わる人材の譲渡を実施し、中核事業をゲーム分野からEC分野へ事業構造を転換しました。今後、SHOPLISTへ人材や資金等の経営資源を集中させ、SHOPLISTの集客力・販売チャネル・ブランディング強化を行うことで、インターネットコマース事業の成長に注力し、企業価値の向上に努めます。

また、今後のインターネットコンテンツ事業（ゲーム事業）につきましては、戦略子会社『Studio Z株式会社』（以下、Studio Z社）にて、少数精鋭で1本の新規開発に一球入魂、低額投資と少人数組織でマネジメントコストやコミュニケーションコストの効率化を図ることで、ハイリスクな開発方式をローリスクに変えた形で、高収益を生み出すヒット作の創出に継続して挑戦してまいります。

このような状況の中、当第3四半期のインターネットコマース事業は、SHOPLISTが拡大を続けており、当第3四半期連結会計期間の売上高は5,706,113千円（前年同四半期比23.2%増）となり、四半期として過去最高の売上高を達成しました。また、第1四半期から第3四半期までの累計の前年同期比の成長率も+32.5%と高い成長率を継続しております。今後も、年間購入者数の増加と1人当たりの年間購入金額の拡大という目標に沿って、継続的な大規模プロモーションや、配送時間の短縮を達成するための物流強化の推進、リピーター増加施策の充実など、引き続き事業規模拡大・サービス向上に注力してまいります。

なお、インターネットコンテンツ事業につきましては、平成28年11月にStudio Z社に移管したエレスト以外の全てのゲームタイトルを株式会社C&Mゲームスに移した上で、マイネットグループへ同社株式を譲渡したことに伴い、同事業の第3四半期連結会計期間の売上高は1,690,107千円（前年同四半期比58.6%減）となりました。この取引による特別利益（関係会社株式売却益）は2,421,029千円となり、提出日現在で3,647,804千円の資金を獲得することが決定しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は23,389,587千円（前年同四半期比13.6%増）、営業利益は1,857,321千円（前年同四半期比20.5%増）、経常利益は1,895,884千円（前年同四半期比22.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,068,212千円（前年同四半期比241.6%増）となりました。

（注）株式会社野村総合研究所の調査を基に記載しております。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで「インターネットソリューション事業」として記載しておりました報告セグメントにつきましては、重要性が乏しくなったことに伴い、報告セグメントに含めず「その他」の区分に含めて記載する方法に変更しております。前年同四半期の金額及び比率につきましては、前第3四半期連結累計期間を当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

#### ①インターネットコンテンツ事業

売上高は8,240,001千円（前年同四半期比10.4%減）、セグメント利益は1,372,572千円（前年同四半期比16.1%増）となりました。

#### ②インターネットコマース事業

売上高は14,957,987千円（前年同四半期比32.5%増）、セグメント利益は507,212千円（前年同四半期比39.6%増）となりました。

#### ③その他

売上高は191,598千円（前年同四半期比70.2%増）、セグメント損失は22,464千円（前年同四半期はセグメント損失3,336千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の増加5,427,159千円及びのれんの増加1,212,606千円があった一方で、売掛金の減少267,672千円及びソフトウェアの減少886,624千円などにより、18,203,207千円（前連結会計年度末比5,913,764千円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、買掛金の増加1,000,093千円、未払金の増加1,558,497千円及び長期未払金の増加359,394千円があった一方で、未払法人税等の減少9,017千円などにより、6,289,053千円（前連結会計年度末比2,978,310千円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、配当金の支払179,836千円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上3,068,212千円などにより、11,914,153千円（前連結会計年度末比2,935,453千円の増加）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループには、インターネットコンテンツ関連の新規性が高い事業が含まれており、成長スピードを合理的に予測することが難しく、それに伴い広告宣伝費等の規模やその発生時期につきましても合理的に予測することが難しい状況となっております。

これらにより、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから、業績予想の開示を見合わせます。なお、期中の業績の進捗を踏まえ、算定が可能になり次第速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、株式会社Candleの全株式を取得したこと、新設分割（簡易分割）により新たにStudio Z株式会社を設立したことにより、連結の範囲に含めております。

なお、第1四半期連結会計期間より、ウェーバー株式会社は、平成28年4月1日を効力発生日として当社が同社を吸収合併したことにより、連結の範囲から除外しております。また、当第3四半期連結会計期間において、Card King株式会社の全株式を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。

この結果、平成28年12月31日現在では、当社グループは、当社、連結子会社5社及び持分法適用関連会社1社により構成されております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,377,684	12,804,844
売掛金	2,678,673	2,411,001
繰延税金資産	88,522	146,246
その他	156,222	450,147
流動資産合計	10,301,103	15,812,238
固定資産		
有形固定資産	215,610	270,264
無形固定資産		
ソフトウェア	955,601	68,976
のれん	—	1,212,606
その他	2,338	2,085
無形固定資産合計	957,939	1,283,668
投資その他の資産		
投資その他の資産	891,198	917,445
貸倒引当金	△76,409	△80,409
投資その他の資産合計	814,789	837,036
固定資産合計	1,988,339	2,390,968
資産合計	12,289,443	18,203,207
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,693,412	2,693,505
未払金	584,018	2,142,516
1年内返済予定の長期借入金	—	48,000
未払法人税等	681,797	672,779
賞与引当金	19,868	—
ポイント引当金	80,498	93,823
その他	251,148	250,034
流動負債合計	3,310,743	5,900,659
固定負債		
長期借入金	—	29,000
長期未払金	—	359,394
固定負債合計	—	388,394
負債合計	3,310,743	6,289,053
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	432,964	441,483
資本剰余金	1,278,407	1,286,926
利益剰余金	7,724,154	10,612,530
自己株式	△507,320	△507,483
株主資本合計	8,928,205	11,833,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,634	25,974
為替換算調整勘定	4,666	5,672
その他の包括利益累計額合計	27,301	31,647
新株予約権	23,192	18,378
非支配株主持分	—	30,671
純資産合計	8,978,700	11,914,153
負債純資産合計	12,289,443	18,203,207

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	20,594,129	23,389,587
売上原価	13,160,367	16,277,071
売上総利益	7,433,761	7,112,515
販売費及び一般管理費	5,892,056	5,255,194
営業利益	1,541,705	1,857,321
営業外収益		
持分法による投資利益	18,900	34,580
為替差益	4,350	9,977
その他	3,933	7,380
営業外収益合計	27,184	51,938
営業外費用		
投資事業組合運用損	1,697	7,728
貸倒引当金繰入額	12,500	4,000
その他	2,777	1,647
営業外費用合計	16,974	13,375
経常利益	1,551,914	1,895,884
特別利益		
受取和解金	—	45,000
関係会社株式売却益	—	2,421,029
事業譲渡益	50,540	—
その他	2,955	4,241
特別利益合計	53,496	2,470,270
特別損失		
固定資産除却損	137,773	2,696
倉庫移転費用	4,562	—
支払和解金	6,166	165,000
減損損失	183,447	7,225
関係会社株式評価損	—	9,000
その他	3,666	—
特別損失合計	335,616	183,922
税金等調整前四半期純利益	1,269,794	4,182,232
法人税、住民税及び事業税	401,855	962,358
法人税等調整額	△30,373	125,990
法人税等合計	371,481	1,088,348
四半期純利益	898,312	3,093,883
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	25,671
親会社株主に帰属する四半期純利益	898,312	3,068,212

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	898,312	3,093,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△603	3,340
為替換算調整勘定	85	1,005
その他の包括利益合計	△517	4,346
四半期包括利益	897,794	3,098,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	897,794	3,072,558
非支配株主に係る四半期包括利益	—	25,671



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。